

県大会組合せ決定!! 初戦の対戦相手は 黒石野球協会OB

創部28年目、優勝2回の名門 千成倶楽部は、第30回東奥日報社杯争奪青森県熟年野球大会に16年連続(通算19回目)で出場します。

このたび組合せが決定し、千成倶楽部の対戦相手は、南黒地区の黒石野球協会OB(8月24日(土)浪岡球場(10:30試合開始))と決定しました。(別紙の組合せ表のとおり)

対戦相手の黒石野球協会OBは、平成30年度に県大会で対戦しており、6-2で快勝しています。昨年度も県大会に出場しており、1回戦で東青地区のポン友クラブBに2-9で敗退していますが、メンバーは40~50代中心の好チームです。千成倶楽部は、年々平均年齢は上昇していますが、平成30年度の県大会では、黒石野球協会OB戦での勝利から快進撃した実績があります。今年度の県大会もコンディションを整えて臨みましょう! 県大会まで今後の日程は次のとおりです。

また、リーグ戦も現在のところ5連敗中ですが、終盤戦で挽回しましょう!!

7月14日(日)	9:00~11:00	リーグ戦: キングス40戦	(スポーツ広場第二球場)
7月28日(日)	11:00~13:00	リーグ戦: 永球会Ⅱ戦	(旧小湊中グラウンド)
8月18日(日)	9:00~11:00	リーグ戦: CRUSH戦	(旧浅虫中グラウンド)

◎令和6年度リーグ戦速報

▲5月5日(第1戦 1敗) スポーツ広場第二球場

強人軍40S	1	0	0	5	4	0	2	12	加賀、工藤一豊嶋
千成倶楽部	1	1	2	1	0	0	0	5	鷲尾、嶋貫、嶋一濱田

・三塁打: 中村(千) 西、川越(強) 二塁打: 山下、川越、平山(強)

先制するも4回に逆転され追撃及ばず...

1点を先制された千成はその裏、2番中村の三塁打と3番嶋貫の中前安打で同点とすると、2回裏には1番柳谷のタイムリーで勝ち越し、3回裏にも3番嶋貫、4番中嶋の連打から6番木村の2点タイムリーで追加点をあげた。

しかし4回表に強人軍に5安打と失策で4点を追加されて逆転を許した。千成は4回裏にも2番中村、3番嶋貫、4番中嶋、4番嶋の4連打で追撃したが、5回に4点、7回にも2点を追加されて先発鷲尾一嶋貫一嶋にリレーも及ばなかった。打線は16安打と奮闘したが、13残塁と課題を残した。

▲5月19日(第2戦 2敗) 旧小湊中グラウンド

ユニオン青森	2	0	4	1	0	1	0	8	高坂、佐々木啓-佐々木大
千成倶楽部	0	0	0	0	3	0	0	3	鷲尾、嶋貫一濱田

・二塁打: 中嶋(千) 蝦名2(ユ)

5回の追撃も及ばず...

7対0とリードされた千成は5回裏に4番山宮、5番中嶋、6番木村の連打と7番斎藤の犠飛で3点を挙げて追撃したが、6回表に追加点を許し及ばなかった。

療養中の大宮さんが応援に駆けつけてナインを鼓舞した。

▲6月2日（第3戦 3敗）あおしん球場

千成倶楽部	4	0	0	0	0	0	0	4	鷲尾、嶋貫一・濱田
ポン友クラブB	1	3	0	0	2	4	×	10	古舘、吉川、橋本一・村上

・二塁打：嶋（千） 山谷 2、寺沢 2、八戸、吉川、桜田、稲葉（ポ）

4点先制するもポン友クラブの長打攻勢に屈する…

1回表の千成は、2番中村、3番嶋貫、4番中嶋、7番佐藤、9番鷲尾の安打と2四球をからめて打者一巡の猛攻で4点を先制した。

ポン友は1～2回で同点に追いつくも、千成の先発鷲尾は3回と4回は緩急をつけた気迫の投球でポン友をかわしたが、5回裏に3連打で2点を追加されて逆転を許すと、継投策も及ばず6回にも連打を浴びて4点を追加されて試合は決した。

千成は、2回以降は打線が抑えられ、6回表には5番嶋に二塁打、6番木村の安打で追撃を図るも、7番佐藤の三ゴロが微妙な判定で本塁アウトとされ、追加点はならなかった。

▲6月16日（第4戦 4敗）森の広場球場

五鉄ドジャース	0	0	1	1	0	0	2	4	鳥谷部、鷲尾一大釜
千成倶楽部	2	0	0	0	0	0	0	2	中嶋一・濱田

・二塁打：大柳、山田、鷲尾（ド）

初登板の中嶋好投及ばず、最終回に逆転を許す…

1回表の千成は、2番中村の安打から、3番柳谷の四球をはさんで4番山宮、5番中嶋の安打などで2点を先制した。

初登板の中嶋は3、4回に失点したが無四球の好投をみせて、試合は終盤に入った。

6回表には五鉄の無死二、三塁のピンチをしのいだが、7回表は二死二、三塁から痛恨のタイムリーを浴びて逆転を許した。

千成は2回以降も走者を出したが、追加点を奪えなかった。

▲6月30日（第5戦 5敗）外ヶ浜球場

千成倶楽部	1	0	0	0	0	2	0	3	鷲尾、嶋貫、嶋一・濱田
平内BBクラブ	0	2	0	2	0	6	×	10	森、長畑、濱田一・濱田、傳法谷

・本塁打：須藤 ・三塁打：森 ・二塁打：盛、傳法谷、濱田、長畑（平）

6回に1点差の追撃及ばず、突き放されて苦敗…

1回表の千成は、1番中村の四球から相手のパスボールで先制した。

1回裏の平内は3連打で無死満塁とするも、千成の先発鷲尾は気迫の投球で凌いだ。

しかし、2回裏二死後に3連打を浴びて逆転を許し、4回裏も2点を追加され苦しい展開となった。

追う千成は6回裏、5番嶋の四球から7番佐藤の右前安打、8番濱田の左前安打で1点を返し、なおも9番の代打工藤の死球で満塁として1番中村の一ゴロで1点差まで追いつけた。

6回裏の平内は、本塁打・三塁打・二塁打2を含む6安打を集中し、さらに失策も絡んで一挙に6点を追加して試合を決めた。

千成は2回以降も走者を出して反撃を試みたが追加点はならず、鷲尾・中嶋・嶋の継投も及ばなかった。これで千成倶楽部が創部した1997年度以来の開幕5連敗を喫した。

※連敗記録：平成16（2004）年度 6連敗（最終成績 4勝10敗）

平成 9（1997）年度 開幕5連敗（最終成績 4勝7敗）